



**UNITED NATIONS  
UNIVERSITY**

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-3499-2811  
Fax: +81-3-3499-2828  
E-mail: [media@unu.edu](mailto:media@unu.edu)  
Website: <http://www.unu.edu/>

2007年1月19日  
MR/J02/07

メディア用原稿  
非公式記録

## 国連大学高等研究所セミナー

### 「生物多様性をミレニアム開発目標のひとつに」を開催

内容： 第1回国連大学高等研究所（UNU-IAS）バイオディプロマシー講演セミナー  
テーマ： 「生物多様性をミレニアム開発目標のひとつに」  
講演者： 生物多様性条約事務局長兼国連事務次長補 アーメッド・ジョグラフィ博士  
日時： 2007年1月25日(木) 午後2時30分～午後4時  
場所： 横浜パシフィコ6階 国連大学高等研究所（UNU-IAS）  
主催： 国連大学高等研究所（UNU-IAS）

- 第1回 UNU-IAS バイオディプロマシー講演セミナー（10周年を迎えた UNU-IAS の新たな10年に向けた活動開始を記念するもの）は、生物多様性とミレニアム開発目標（MDGs）に関連する次のような重要課題に取り組むものである。
  - －世界中の貧困、飢餓、病気の削減、教育機会の増大、健康な環境作り、公正で平等な開発などは近い将来現実となるのか、それとも遠い夢物語に過ぎないのか。
  - －環境を保護し持続させるための世界条約の実施に向けて、今何が行われているか。
  - －世界の飢餓と貧困を減らすために生物多様性が果たす役割は何か、また MDGs の達成にどのように貢献することができるか。
- このセミナーでは、2010年に開催される生物多様性条約(CBD)第10回締約国会議（COP-10）の主催国に立候補している日本の役割と責任を考える。
- 日本で開かれる CBD COP-10 は、世界の環境保全の課題と持続可能な開発アセスメントのプロセスにとって非常に重要な時期に当たっている。
  - － CBD COP-6（2002年）で、各国の環境閣僚は、開発と貧困削減に貢献できるかたちで2010年までに生物多様性の喪失率を低下させるよう協力すると約束した。
  - － CBD COP-8（2006年）で、各国の環境閣僚は、遺伝資源へのアクセスと利益配分に関する国際的的制度について2010年までに交渉し成立させることに同意した。
- 同時通訳なし。

取材をご希望される方は、UNU-IAS の河盛（カワモリ）までお知らせください。  
（電話：045-221-2306 メール：[Kawamori@ias.unu.edu](mailto:Kawamori@ias.unu.edu)）

#### UNU-IAS バイオディプロマシー・プログラムについて

UNU-IAS バイオディプロマシー・プログラムは国連大学の最も重要なプログラムで、世界的な政策展開と実施のための実用的な機構を作ることを主眼としている。このプログラムを通じて UNU-IAS は、MDGs の枠内に生物多様性の喪失率を低減という CBD2010 の目標を検討することを国連総会への勧告に含めるよう（2006年にブラジルで開かれた環境閣僚会議を通じて）働きかけるなど、世界の生物多様性計画に大きく貢献している。

---

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された国連総会傘下の独立機関。研究機関、シンクタンクとして、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ

---